

甲府市農業集落排水事業における 経営戦略の策定について

概要版

事業概要

事業区域：古関町・梯町の全2町

対象施設：汚水処理施設1施設 中継ポンプ施設10施設 管路延長8,158m（令和2年度末時点）

経過概要：農業用排水及び河川の水質保全を図るため、平成4年度から平成8年度までの間に旧上九一色村が汚水等処理する施設の整備事業を実施し、平成9年度より供用を開始しました。その後、平成18年度の市町村合併を経て甲府市となり、現在では、それらの施設も20年以上を経過し、適切な維持管理が必要となる時代を迎えています。

事業財源：一般会計と区分して経理を行うため、特別会計を設置しており、農業集落排水利用者からの使用料と本市一般会計からの繰入金を財源として、事業を運営しています。

経営戦略とは・・・

事業の効率化と健全化を図り、事業を安定的に継続していくための中長期的な経営の基本計画が経営戦略になります。総務省から健全経営を図るべく経営戦略の策定の要請があり、経営戦略策定により、経営の基盤の強化と財政マネジメントの向上を図ることが求められています。また、策定にあたっては、議会や住民に対してその意義や内容を説明し、策定後は市のホームページにて「経営戦略」を公開いたします。

経営戦略の内容（要約）

計画期間

令和4年度から令和13年度までの10年間です。本経営戦略では、この10年間における「収支計画」を作成しています。

今後は各年度毎に決算状況と比較・分析しながら必要に応じて計画の見直しを随時行います。

使用料

使用料は、世帯毎の月当り基本料金と世帯員割の合計で算定しています。

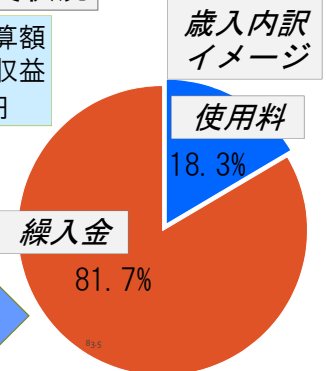
また、本市では「甲府市使用料・手数料の見直し基本方針」による使用料の見直しを3年ごとに行っています。本事業についても、同時期に使用料の見直しを行うこととします。

収支計画

収支計画については、営業費用（維持管理費用）や営業収益（下水使用料）を計画期間内において横ばいの予測としています。令和9年度以降に地方債償還が減少していきますが、農業集落排水施設最適整備構想による新たな改築、修繕費用の増加が見込まれるため、今後も一般会計からの繰入金は必要不可欠となります。

事業の収支状況

令和2年度決算額
総費用 = 総収益
31,404千円



営業費用（総費用）の約8割以上を本市一般会計からの繰入金にて充当

経営の基本方針

本事業の将来的な見通しとしては、事業区域内の人口減少と施設の老朽化等の進行という課題が想定され、大変厳しい経営環境を迎えています。特に施設の改築費の増加については、将来的には顕著に表れることが想定され、本事業の継続には今後も本市一般会計からの繰入金が必要不可欠です。（右上の円グラフを参照）

今後については、令和元年度に実施した施設機能診断と令和2年度策定した農業集落排水施設最適整備構想に基づき、経営状況の現状を把握しながら、予算の平準化を図る中で、予防保全の維持管理を行っていくとともに、円滑で無駄のない組織運営と行政サービスの適正な水準の確保に留意しながら、健全な事業経営に努めていきます。